



「命」と「心」を守るために

雨ニモ負ケズ 急ナ変更ニモ負ケズ 全力で取り組み輝いた子どもたち。子どもたちのため心をひとつに力を合わせて子どもたちの活動を支え、ともに輝いてくださった保護者・関係者の皆さん。本校の底力を発揮した「歴史に残る補習校祭り」となりました。ありがとうございました。

さて、この機会に改めて確認とお願いしたいことがあります。

昨年中国の日本人学校のスクールバスが、刃物を持った男に襲われたことを受け、日本政府・領事事務所の指導・助言のもと、本校 HPにおいては、児童生徒の行動予定（年間行事予定、日課表等）がわかるものを削除し、「HP 用学校だより」には児童生徒の名前や様子のわかる写真を削除したり加工して載せたりしています。（配布用学校便り（写真や名前入り）は関係者のみに配信しています）

先日の補習校祭りや来週予定している音読発表会において撮影された画像や動画（授業参観や日常の学校生活のものも含め）は、児童生徒の名前や保護者等の写真・動画、学校内部（ホール・教室等）の状況がわかる写真・動画等の配信がないかを確認していただき、個人情報の取り扱いについて以下の点でお一層の御配慮をお願いいたします。

- ・他の子どもや保護者等が写っていないものを使用する。
- ・他の子どもや保護者等の個人が特定されない処理を施す。
- ・拡大しても個人が特定されない全体の雰囲気が分かるものを使用する。

日本国内の小中学校では以前から児童生徒の発達段階に応じてメディアリテラシー（メディアの正しい使い方やネチケット等）の指導をしてきましたが、コロナ渦をきっかけに1人1端末が配布され日常の学習でもデジタルデバイスを使用することになったため、メディアリテラシーをさらに向上させる指導が必須となり、家庭と連携して指導をしています。一方、ここNZでも16歳以下のSNS等使用禁止が議論されるなど、国際的にも課題となっています。

本校においても、子どもたちの「命」と「心」を守るために適切かつ安全にメディアを使うことができるよう、メディアリテラシーについて改めて指導をしたいと思います。ご家庭においても、ぜひメディアとの正しいつきあい方やルールについて話し合ってみてください。

※参考 [スマホ時代のキミたちへ<小学校高学年・中学生用>2020年版](#)